

Harbor

～気づく やりきる 認め合う～



港区立港南中学校 第3学年
学年だより第12号
平成30年6月15日(金)

【運動会を終えて】

【生徒作文より】

運動会を終えて

私の運動会前の目標は「自分は運動が苦手だが、ムカデで先頭だからみんなと息を合わせながら、引っ張っていけるよう、どんなに辛くても最後まで全力で駆け抜きたい」だった。だから、どんなに痛くて重くて大変でも、私は最後まであきらめずに走ることができた。

運動会当日、みんな暑くて疲れていたけれど、全力で走った。途中、南側から他のクラスが追いあげてきて、あきらめそうになってしまったが、ゴール直前で他のクラスが止まってしまったため、なんとか追いつき、1位でゴールすることができた。私は、最後まであきらめずに全力で走り続けたいからこそだと思う。

しかし、本番が良い結果でも練習中の姿勢も大事だと私は思う。特に思ったのは、ムカデの縄の準備時だ。うちのクラスでは積極的な人が少なく、縄の準備もみんなやれば早いのに、私とMさん以外全然やろうとしてくれなかった。こういう感じで、一部の人が多くの仕事を背負いすぎてしまうと団結もできないし、一部の人への負担がとて大きくなってしまう。

だから私は、今回の結果に満足するのではなく、これから行う行事すべてにおいてみんなが積極的に活発に参加できたら、より良い行事になると思う。ただ、願うだけでは誰も動いてはくれないので、どうしたらみんながもっと参加したいと思うのかを考えて、工夫しながら、行事を行っていきたいと思う。



C組

運動会を振り返って

中学校最後の運動会が終わりました。1学期の大きな行事なので、1・2年生で経験してきたことを生かしたいと思っていました。

今年の運動会で強く印象に残っているのは、「港南ソーランと「むかで競争」です。1年生の時には中学校に入学してすぐに運動会があったような気がしていて、先輩たちのソーラン節に圧倒されました。どうしたらあんなに一生懸命踊れるのかと不思議に思っていました。自分が3年生になってみると、ただ一生懸命踊るだけではなく、運動会を支えてくれているすべての人たちに対する感謝の気持ちが大切だということがわかりました。遊戯として踊るのではなく、クラスの仲間と力を合わせることで、他の学年・クラスの人へのエール、地域の方々への感謝

です。全ての人への感謝の気持ちをもって、演技できたのはとても気持ちの良いものでした。



B組

また、学年種目の「むかで競争」も、B組女子全体でのチームワークを発揮することができたので、とても印象に残っています。最初は転んだりすることが多かったのですが、掛け声、タイミングや速さを工夫することでだんだん上手くなっていきました。練習の仕方を工夫すること、練習の成果を本番で発揮できたことはとても大きな成長につながったと思います。クラスの皆と一緒に練習できたこと、転んで痛い思いもしたけれど、最後は大きな達成感が得られたことにとても喜びを感じました。

運動会を通して

私は、今回の運動会を通して感じたことが二つあります。

一つ目は、練習でのことです。3年生になって初めての行事ということもあり、最初の練習でソーラン節や応援練習をしたときは、声が出ていませんでした。しかし、最高学年として他の学年のお手本とならないといけないということもあったため応援団や実行委員を中心とした人たちが声を出してくれたおかげで他の人も声を出すようになり、運動会を成功できたのだと思いました。

二つ目は、運動会当日でのことです。今回の運動会は各学年が3クラスずつとなり、色別対抗で行われました。そのため、予行の時には運動会の流れを確認するだけで、競技は行わなかったのですが、盛り上がることはありませんでしたが、当日は他の学年の種目でも同じ色同士応援していたので、前回の運動会よりも盛り上がることもできたと思います。

3年生にとっては最後の運動会ということもあり、3年生がいつも以上に声を出していました。そして、全員が競技に全力で取り組んでいました。3年生が全力で取り組む姿を見て、下の学年も声を出していったのだと思います。

私は、このことを当日にできたから3年で最後の運動会が成功できたと思いましたし、全員が悔いなく終わられたのだと思いました。

A組



【運動会当日の写真】

